

2018.5 Vol.468

関西大学通信

Kandai Style

祝 関西大学 千里山東体育館 竣工

関大生が利用できる
施設を紹介します!

中央体育館
トレーニングルーム
千里山キャンパス



利用方法

トレーニングルームの利用時に、入口で必ず学生証をカードリーダーにかざしてください。

- ※事前にトレーニング講習会に参加する必要があります。
- ※講習会を未受講の場合は、安全上の理由等から利用はできません。

- ①講習会の予約はスポーツ振興グループ(新凱風館1階)で受け付けています。
- ②毎月1日(1日が日曜日・祝日に当たる場合は翌日)に、その月の受付を開始します。
- ③原則として、講習会は4月～12月に開催します。
- ④講習会の開催については、毎月インフォメーションシステムの「お知らせ」にアップします。

利用可能日

授業期間中 月曜日～土曜日の14:30～21:00
※祝日を除きます。

休業期間中 月曜日～土曜日の9:00～21:00
※祝日と8月11日～8月20日、12月26日～翌年1月6日まで、入試期間等を除きます。

更衣室、
シャワールームは
中央体育館内に
あります。

利用時の持ち物

- 学生証・教職員証 ※入退室に必要。
- 運動ができる服装(トレーニングウェア、ジャージ等)
- 屋内用シューズ タオル等

トレーニングルーム
~Fitness Crew~
堺キャンパス 体育館



関大生が利用できる 施設を紹介します!

楽天BOX

千里山キャンパス
新関西大学会館南棟 1階
インフォメーション前



商品購入時に
「関西大学楽天
BOX 受け取り」
の選択が可能。

利用方法

- ①楽天市場で購入したい商品を買いかごに入れ、購入手続きに進みます。
- ②配送方法の変更から、ロッカー受け取りを選択。関西大学内の楽天BOXを選択してください。
- ③その他の必要事項を入力し、注文を確認すればお買い物完了です。ショップからの連絡メールをお待ちください。
- ④楽天BOXに荷物が届くとメールが配信されます。
- ⑤メール記載のパスワードをロッカーの操作画面に入力し、商品を受け取ります(受け取り期限は3日間です)。

楽天BOX 利用ガイド → <https://event.rakuten.co.jp/r-box/>

利用方法

トレーニングルームの利用時に、受付で学籍番号・氏名等の必要事項を記入してください。

- ※事前にオリエンテーションに参加する必要があります。
- ※オリエンテーション参加希望者は、前日までにトレーニングルーム受付で予約をしてください。

利用可能日

授業期間中 月曜日・火曜日・木曜日・金曜日の10:30～19:30
※祝日を除きます。

休業期間中 月曜日～金曜日の10:30～15:00
※祝日を除きます。

※詳細は、トレーニングルームに掲示している年間開室予定表を確認してください。

利用時の持ち物

- 学生証・教職員証 ※入退室に必要。
- 運動ができる服装(トレーニングウェア、ジャージ等)
- 屋内用シューズ タオル等

関西大学には、学生の皆さんが利用できる、さまざまな施設があります。今号ではその一部を紹介します。ぜひ、積極的に利用してください!

白馬杵池高原ロッジ
(宿泊定員 72人)



心身ともに
リフレッシュ!
冬にはスキーや
スノーボードが
楽しめます!

〒399-9422 長野県北安曇郡小谷村千国乙12840-91
TEL 0261-83-2140 FAX 0261-83-2188

アクセス

- ▶ JR大糸線「白馬駅」または「白馬大池駅」から、バス「杵池高原」行きに乗車、約15分後、終点で下車、徒歩約20分
- ▶ 「白馬駅」または「南小谷駅」から、タクシーで約20分
- ▶ 長野自動車道「豊科IC」から自動車で約70キロメートル
- ▶ 北陸自動車道「糸魚川IC」から自動車で約40キロメートル

利用方法

- ①教育後援会事務室へ来室または電話にて、使用日・人数・使用目的等を連絡し、利用の可否を確認の上、「仮予約」してください。
- ②利用開始日の2週間前までに、所定の申込書に記入の上、名簿と料金を添えて申し込んでください。

セミナーハウス利用のお問い合わせ先：教育後援会

受付 月曜日～金曜日の9:00～17:00
曜日時間 ※祝日を除きます。
TEL 06-6368-0055

セミナーハウスは今回紹介したほかにもあります。利用に関する詳細とともに、大学ウェブサイト (<http://www.kansai-u.ac.jp/Jigyo/seminar/index.html>) で確認してください。

関大前ラボラトリ
(通称まち・かん114)
千里山キャンパス
関大前通り



施設の概要

本学が関大前での教育・研究活動の拠点および地域との交流活動の場として2015年6月に設けた施設です。コミュニティースペースとして、ゼミやサークル活動、会議、地域の交流会、展示会等さまざまな用途での利用が可能です。

利用方法

利用申請書(ウェブサイトからダウンロードまたはラボラトリ備付)に必要事項を記入の上、ラボラトリスタッフに提出し予約してください。

- ①原則として使用日の1週間前(当日が休日に当たる場合は直前の平日)までに予約してください。
- ②定員は30人程度です。

※利用目的によっては、使用できない場合があります。

利用可能日

月曜日～金曜日の10:00～17:00
※祝日と8月11日～8月20日、12月26日～翌年1月6日までを除きます。

<http://kandaimaelabo.wixsite.com/machikan114>

六甲山荘
(宿泊定員 54人)



夕食は、
100万ドルの夜景を
見ながら、神戸牛の
しゃぶしゃぶや
すき焼きが
堪能できます!

〒657-0101 兵庫県神戸市灘区六甲山町北六甲4512-414
TEL 078-891-1340 FAX 078-891-1341

アクセス

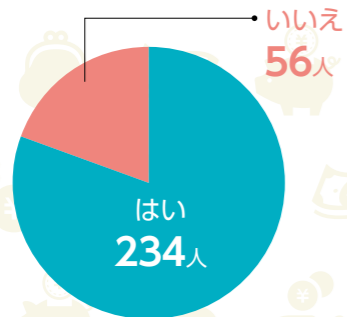
- ① JR東海道本線「六甲道駅」または阪急「六甲駅」、阪神「御影駅」のいずれかから、神戸市営バス「六甲ケーブル下」行きに乗車、終点で下車
- ② 六甲ケーブルに乗車、約10分後、「六甲山上」で下車
- ③ 「六甲ケーブル山上駅」から山上バス(循環バス)「六甲ガーデンテラス」行きに乗車、「カントリーハウス」で下車、徒歩約5分

電子マネーと仮想通貨のの違いはなに？

電子マネーと仮想通貨の違いを知っていますか？
電子マネーや仮想通貨について、
皆さんがどのように考えているのか調査しました。

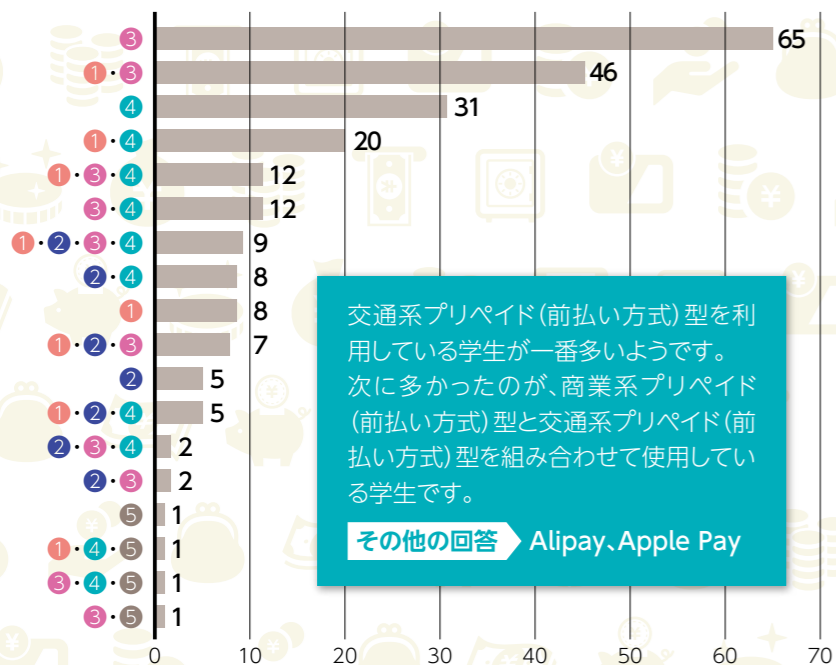
【アンケート期間】2月7日～3月9日 【対象】関大生 【回答者】290人

電子マネーを利用していますか？



どのような種類の電子マネーを利用していますか？(複数回答可)

- 商業系プリペイド(前払い方式)型 (例: 楽天Edy, nanaco, WAON, au WALLETなど)
- 商業系ポストペイ(後払い方式)型 (例: iD, QUICPayなど)
- 交通系プリペイド(前払い方式)型 (例: ICOCA, Suica, PASMOなど)
- 交通系ポストペイ(後払い方式)型 (例: PiTaPaなど)
- その他



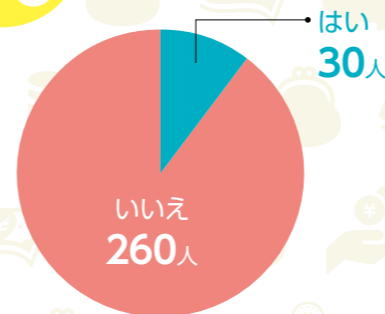
電子マネーのメリットは何だと思いますか？

- 駅で素早く改札を出ることができる。(文学部2年次生)
- 小銭や札などのお金を持ち歩かずに支払いができるところ。(法学部2年次生)
- 現金での支払いと比べて、間違いが起これなくなる。支払いの時にポイントがたまるカードもあり、手間も省けてお得。(商学部4年次生)
- 前払いなら、事前に使う額を決められるので無駄遣いがなくなる。後払いなら、手持ちのお金が足りなくて困ることがないこと。(法学部2年次生)
- MoneyForwardなどの家計簿アプリと連動させることによって、家計簿を簡単につけることができる(お金の管理が簡単になる)。財布が軽くなる。(商学部2年次生)

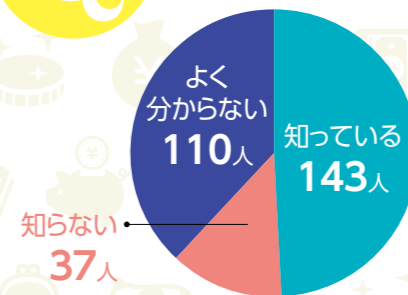
電子マネーのデメリットは何だと思いますか？

- 数や種類が多すぎると、自分のお金がどこに、いくらあるのか把握しにくい。(社会学部3年次生)
- カードに現金をチャージするという手間が増えるところ。(経済学部2年次生)
- 現金で持たないため、ハッキング等により盗まれていたとしても気づきにくい。また、気付いても対応が遅れる。(政策創造学部3年次生)
- 払い戻しができない、もしくは手数料がかかる。現金と違ってお金を使った感覚があまりないので使いすぎる場合がある。(商学部3年次生)
- 紛失した場合、見つかりにくい。データが流出した場合、悪用される可能性がある。全ての店に対応していない。(総合情報学部3年次生)

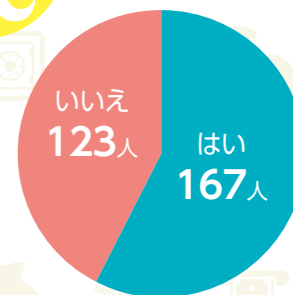
仮想通貨を購入したことがありますか？



電子マネーと仮想通貨の違いを知っていますか？



今話題の仮想通貨について興味はありますか？



ビットコインなどの仮想通貨についてのニュースをよく耳にしますが、それについてどう思いますか？

- 名前は聞いたことがあるが詳しいことは分からないので、今後その知識を増やしたい。(文学部2年次生)
- 今は仮想通貨が投機対象になっているがこのブームが終われば、金融の在り方を変える可能性を秘めたものだと思っている。(文学部2年次生)
- 可能であれば自分も投資したいと思う。(総合情報学部3年次生)
- 仮想通貨とは何かから報道してほしい。不安だけをあおっている報道になっている気がする。(社会学部4年次生)
- 仮想通貨の流出が問題になっていたが、やはり、インターネット上のやりとりになると、管理体制を強化する必要があると思う。(政策創造学部3年次生)
- どんなものか分からないから興味がない。(商学部3年次生)
- 仮想通貨が本来の役割として機能していない。ただのお金を稼ぐための道具として利用されていると思う。(システム理工学部4年次生)
- 日本人は現金を持ち歩くイメージが強いので、投機的な価値はあるとしても通貨としての流通は難しいと思う。(経済学部4年次生)
- ビットコインが世界中で広がっているので、その仕組みを把握しておかなければ、国際間の取引において大きく出遅れるという危機感がある。(環境都市工学部4年次生)
- 目に見えない所でお金が増えたり減ったりするのは、正直怖いと思う。(社会学部2年次生)

PROFESSOR'S COMMENTS
商学部 田村香月子准教授

通学など、電子マネーを身近に利用している関大生は多いそうですね。一方、仮想通貨に対する興味関心は高いもの、よく分からないという意見がみられます。

電子マネーと仮想通貨の違いは何でしょうか。電子マネーは支払手段の電子化であり、例えば円なら円のまま、お金の価値は変わりません。一方、仮想通貨はそれ自体に価値が付随し、お金の代わりになる可能性があります。

お金は、財やサービスの価値を示す尺度であり、財産として保存できるほか、取引の手段として機能します。お金がお金として利用されるためには、それがいつでもどこでも誰とでも使えると皆が信じる「一般受容性」が必要です。仮想通貨はこれらの機能がある程度は満たしていますが、価格が大きく変動すること、また利用できる範囲が限られることなどから、現在はお金というより投資対象と見なされています。

FinTechの発達でますます便利に魅力的になるお金の世界ですが、仮想通貨の不正流出や、過去には交換所の破綻など、安全性や利用者保護の制度がまだ十分ではない部分もあります。金融リテラシーをしっかりと持って利用したいですね。

次回のテーマは…「なぜ外国語を学ぶのか」

皆さんが外国語を学ぶとき、どのような目的を持っているか、また、その目的を達成するためにどの程度の語学力が必要だと考えているかなどについて、アンケート調査を実施します。

5月号「関大誌上教室」アンケート
プレゼント当選者の発表について

今号の「関大誌上教室」アンケート「電子マネーと仮想通貨の違いはなに？」にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。プレゼントの発表は、当選者のみ、インフォメーションシステム「個人伝言」で連絡します(5月1日に通知予定)。「関大誌上教室」のアンケートは次号以降も行う予定です。ご協力をよろしくお願いいたします。



Forestry workers

林業／林業全般

奈良県曽爾村地域おこし協力隊

林 宙さん

神奈川県立百合丘高等学校出身
2012年政策創造学部卒業

**強い思いを持ち続けていれば、
回り道をしても目標にたどり着けます。**

林宙さんは、奈良県曽爾村が募集する「地域おこし協力隊」に採用され、森林組合で働き始めて3年目になります。幼い頃から生き物が好きで、環境問題に関心を持っていたといいます。大学卒業後、しっくい塗料メーカーで営業を担当し、多忙な毎日を過ごしていました。木に塗る商品を扱っていたため、木材について調べる機会が多かった林さん。建築物への需要が減り利益が出ないという森林業界の課題を知り、自分にできることはないかと考えるようになります。そして「林業職に携わる仕事に就こう」と一念発起し、現職の公募を見つけたのです。環境問題への関心に加え、大学で地域政策を専攻していたこともあり「木材の販売だけでなく、集客によって収益を得る仕組みを作る」という内容の企画書を提出。面接では、林業への熱い思いと地域の活性化についてプレゼンテーションを行い、見事に採用が決まります。

1年目は土地の測量や検査、伐採、木材の搬出や収集、競り市での販売など、森林組合での仕事を覚えました。一連の流れが理解できた2年目に、多くの人に林業の仕事伝えたいと考えて、自ら「林縁くらす」を立ち上げます。暮らしと林業のつながりを発見することを目的とした体験型の林業学習プログラムです。林の周縁部は光が入りやすく、生物の多様性に富んでいて林縁と呼ばれていることから、森林が長く続いてほしいという願いを込めて「りんね」という読み方にしたそうです。参加者は山に興味がある幅広い年代の人々。午前中は座学、午後は山で伐採体験や木々の状態を見学したり、キノコの植菌をしたりします。「林業の現状が分かった」や「山の仕事は楽しい」など、さまざまな感想が寄せられたそうです。主にSNSを使って宣伝や告知をしているのだとか。

「毎日ご飯を作って食べ、早い時間に眠るといいう、時間に余裕のある規則正しい生活を送っています」と充実した表情で話す林さん。村で300年続く伝統芸能「曽爾の獅子舞」の奉舞会などにも積極的に参加し、曽爾村での暮らしに溶け込んでいます。

環境問題を学ぶため理系に進みたかった林さんですが、入学試験で必要な数学が苦手でした。中学校の先生に「生き物や自然環境に興味があるなら、社会学などの文系学部からでもアプローチする方法はある」とアドバイスを受けました。自然に関わる仕事に就けた今、「興味あることを忘れず、努力し続けていれば、回り道をしなくてもいつか目標を達成できるはずですよ。そんな道を見つけられる力を養ってください」とエールを送ってくれました。

ある1日のスケジュール

- 7:50 出勤・事務所の掃除
- 8:00 現場で伐採や測量などの山林作業
- 12:00 昼食
- 13:00 伐採や測量などの作業の続き
- 16:00 下山
- 16:40 事務処理
- 17:15 退社



必須アイテムは、山林作業道具(ヘルメット、チェーンソー、なた、安全くさび、おの、手袋)。

VIVA!!

学び易



総合情報学部 総合情報学科

「Webマーケティング」 古賀広志 教授

インターネット技術が日常生活で果たす役割について学ぶ。

文理融合の学びを实践できる、多角的視野を持った人材の育成を目指しています。

古賀広志教授の「Webマーケティング」では、コンピューターの仕組みや歴史、インターネット技術といった理系の理論的知識の修得だけでなく、その技術をビジネスに活用する手段を学ぶ文系カリキュラムの拡充を図っています。

授業ではマーケティング・ツールとして利用可能なネットワーク・コンピューティングの基礎やインターネット技術を踏まえ、これらの技術がどのように私たちの生活の中で使われているのか学生に問いかけます。例えば、ウェブサイトやソーシャル・ネットワーキング・サービス (SNS)、スマートフォンのアプリなど、無料で使用できるサービスからどのように利益が発生しているかや、広告やウェブ解析などについて企業の事例を取り上げて解説します。ウェブやSNSを使った口コミなど、テーマごとに2、3社の具体的な事例を紹介。「インターネット技術やマーケティング情報は移り変わりが早いので、数年で新しい事例に差し替えるのが大変です」と古賀教授は言います。学生がよく知っている企業を選定し、古い事例については時間をかけて企業や商品の情報を詳しく説明する工夫をしているそうです。

この授業は、マーケティングの考え方やインターネットを用いたマーケティングの意義を理解することを目標に展開されています。「授業を通して、インターネットやウェブの技術、ビジネスでの活用法、さらにユーザー視点まで把握できる、物事を多角的に捉えられる人材になってほしいです。文理の垣根を越えて学ぶことが、総合情報学部生とその卒業生の特長であり武器であります」と古賀教授。

「これから企業などに就職して働く中で、40歳までは大学で学んだ知識を生かし経験を積んでください。40歳以降は、自身の経験と知識を発揮して後輩たちを育ててください。マーケティング活動は、ユーザーに継続して商品を購入してもらうために行うものです。目の前のことに捉われず、インターネット技術を駆使して、長期的視野と消費者目線での考え、ユーザーが満足できる手段を思索することが大切です」と熱く語りました。



大坪由佳さん (取材時2年次生)

1年次に選択した先生の授業が面白く、また、マーケティングにも興味がありました。先生の授業は分かりやすく、時間があっという間に過ぎます。身近な話題が多いので楽しく学べますし、よく笑いがおきます。マーケティングに興味がある人はもちろん、ない人でも一度授業を受けてみると先生の雰囲気分かり、興味が湧いてくると思います。



田中晶大さん (取材時2年次生)

これまで先生の授業を選択してきましたが、先生の授業は魅力的です。この授業では、企業側と顧客側の両方の視点でマーケティングを学べ、また情報と社会の仕組みについても理解することができます。広告に興味があるので、広告のクリック回数など身近にあるネット環境やマーケティングについて研究をしていきたいと思っています。



総合情報学部 古賀広志 教授

インターネットやウェブの技術は日々の生活で利用しているものですが、具体的にどのような仕組みになっているか知らない学生も多数います。無料のアプリを使っているけれども、作成元がどのように収益を上げているのか、なぜ現物を見ずにインターネットで購入する人が多いのかなど、身近なインターネットやウェブサービスの仕組みに興味がある人は受講してください。



最高の刀匠の1人、河内國平さん

—ユニークな人柄と希代の技—

現代の刀匠として最高位の一人といわれるのが関西大学法学部出身の河内國平さん。初代から数えて15代目の刀匠です。「幻の刃文」と言われる古刀の特徴「乱れ映り」を復元した希代の技と、ユニークな人柄の一端を紹介します。

500年ぶりの刃文復元

大阪から車で2時間余り。奈良県東吉野村の山里に鍛刀場を構えて46年。奈良県指定無形文化財保持者、日本美術刀剣保存協会「新作名刀展無鑑査」、2014年に刀剣界の最高賞である「正宗賞」を受賞という輝かしい経歴を持ちながら、76歳を過ぎた今も1,300度を超える鉄を打ち続けています。

河内さんは学生時代から恩師に恵まれたと言います。上宮高校から関大法学部に進み、刀剣の話題を通じて、考古学の第一人者である文学部の末永雅雄博士(文化勲章受賞、学士院会員、『日本上代の武器』などの著者)と巡り合いました。博士の研究室を訪ね、六法全書をひもとく代わりに、砥石で土器の破面磨きを教わったり、古代の刀剣について考古学上の指導を受けたりしました。

在学中のもう一人の師は、長野県在住の刀匠で人間国宝の宮入昭平さん(後年行平に改名)です。宮入さんの著書『刀匠一代』を読み、最後の2行に引かれました。「私は愛刀家や研究者が出ることは、結構と思っています。が、せめて一人でもよい。将来を託せるような刀鍛冶が生まれてくれないかと、そればかり、切に願ってやみません」。

そこで卒業と同時に弟子入りして師の一挙一動に心酔しながら学び、5年後に独立。奈良県東吉野村の現在地に鍛刀場を設けました。その後、新作名刀展に出品して高松宮賞、文化庁長官賞、佐藤栄作名誉会長賞、毎日新聞社賞など多数の賞を受賞しました。その集大成が2014年の「正宗賞」です。18年間該当者の



刀剣女子の鑑定風景



地鉄を打つ河内さん

いなかった新作名刀展太刀の部での受賞でした。鎌倉時代から戦国時代までの名刀に見られ、その後姿を消した「乱れ映り」という特殊な「刃文」を復元したのが高く評価されたのです。

武蔵の刀と大リーグのバット

「刀鍛冶」一筋に歩んできた河内さんは、母校との縁も深いものがあり、5年前には関西大学博物館で開催された「名刀にかける刀匠 河内國平作刀展」に関連したトークセッションを開きました。対談相手は友人で作家の阿川佐和子さん。1時間半にわたる軽妙なやりとりは下手な漫才よりよほど面白いものでした。例えば「なんで私たちはこんなに深い仲になったの?」と阿川さん。「さっきから、この会場には家内が来てる、と言うてんのに…」とぼやく河内さん。絶妙の「間」とアドリブが会場を沸かせました。

3年前には河内さんが中心となって、「関西大学日本刀研究会」が創設されました。研究会は関大構内で年数回開かれ、参加者の半数以上は女子学生です。「ちょっと乱暴な話やけど、宮本武蔵の太刀は大リーグの選手のバットと同じくらいの重さやで」という河内さんの説明が非常に分かりやすいのが人気の一因です。

6月23日(土)には、市民も対象に、刀の取り扱いを学ぶ「関西大学博物館実習実践研修会」が開催される予定です。詳しくは、近く大学ウェブサイトに掲載されますのでご覧ください。



総合情報学部 4年次生

國見 祐介さん

「感動を多くの人に伝えたい」。フェスで学んだ発信力が前に進む原動力に。

2010年から兵庫県三田市で開催されている音楽フェスティバル「ONE MUSIC CAMP」。総合情報学部4年次生の國見祐介さんは、1年次の夏から3年にわたりフェスのボランティアスタッフとして活動しています。きっかけは、國見さんの出身地が三田市であることと、主催者の開催に至った意図や開催地の選定理由などイベントの背景に興味を持ったことでした。スタッフ募集の告知を見て、すぐに応募。面接では、地元のことや音楽の趣味で主催者と意気投合し、スタッフとして初めて参加します。仕事は憧れのミュージシャンのサポートなど。熱中症になったミュージシャンを看病するなどの経験は勉強になったそうです。

イベント終了後、「フェスの良さを多くの人に知ってほしい」という気持ちが強くなり、「来年はアフタームービーを作らせてください」と主催者に交渉。アフタームービーとは、ホームページや無料で利用できる動画共有サイトにアップロードするダイジェスト動画のことです。高校時代から音楽と映像制作に興味を持ちメディア専攻を選択していた國見さんは、学部のサービスステーションの協力のもと、編集作業を学ぶとともに、メディアクリエイティブサポーター (MCS) に所属。そこで、イベントのアシスタントや映像制作に関わり、撮影と編集のスキルを磨きました。そして2年目のフェスでは、終日1人でライブやキャンプ風景を撮影、編集して3分の動画を完成させました。主催者から好評を得たものの力不足を感じた國見さんは、3年目は前年の反省を生かし、まずは関大や他大学の友人を誘い、撮影メンバーを5人に増員。リーダーとして、スケジュール管理や人員配置などを担当し、采配をとることの難しさを実感しました。また、事前に主催者やミュージシャンの意向をくみ取り、撮影内容について発案したところ、採用され、より面白い企画が生まれました。このことから、コミュニケーションの大切さを知ることができたといいます。「制作や進行についても主催者にアドバイスいただき、多くのノウハウを学びました」と國見さん。

4年目の今年は、メインスタッフとして映像制作とPR活動の両方を任されることになったそうです。「映像がプロモーションに使われるということは、内容の充実性が評価されたということなのでうれしいです。今年の目標は、動画を通して他のフェスと違う特徴を伝えるとともに、SNSを使った広告手法などを学び、再生回数を伸ばすことです」と宣言します。

卒業後はテレビ局への入社を希望しています。「自分が感動したものを多くの人に伝えたい。自らの発信力を生かし、地域の情報を毎日放送したいです。フェスを通して、華やかな舞台裏には多くの人の努力や情熱があることを学びました。そんな影の努力をサポートできるような映像制作をしていきたいです」と夢を語ってくれました。



「ONE MUSIC CAMP」
2016年のスタッフ集合写真
(後列左から5人目が國見さん)

今回は、國見さんからのご紹介で高木優衣さん(総情3)が登場。お楽しみに!



Yusuke Kunimi

2018年度予算編成の概要

— さらなる教育の質向上を目指して —

学校法人関西大学 理事長 池内 啓三



1 予算編成の概要

「少子高齢化」の大きなうねりの中で、政府は、社会全体の活力を維持・発展させるためには、「生き方改革」、「働き方改革」を進めることが不可欠であるとの認識のもと、それらを実現するため、高等教育の質を高め社会のニーズに対応することが必要としています。本学においても「人生100年時代」を見据えながら、ぶれることなく教育・研究・社会貢献・国際化に真摯に取り組み、本学の使命と役割を着実に果たさなければなりません。ますます高度化・複雑化・多様化する諸問題への対応が迫られる中、長期ビジョン[Kandai Vision 150]に掲げた20年後の将来像と前期10年の政策目標を実質化するための中期行動計画(5年)を、着実に推進してまいります。

さて、2018年度予算は、2018年3月29日開催の理事会において承認されました。

2018年度は、大学が機関別認証評価を、そして3つの専門職大学院が専門分野別認証評価を受審します。全学的に教育の質の点検・評価を行い、継続的に改善・向上に取り組んでいくことでさらなる充実と向上を図ります。また、学長のリーダーシップの下で推進される文部科学省の「私立大学研究ブランディング事業」に、2016年度から2年連続で選定され、これは全国で7大学、関西では本学だけという快挙となりました。引き続き、本学の強みや独自性をより一層発揮する研究を展開し、戦略的な情報発信を行ってまいります。

2018年度の事業計画は、次の「2 事業計画の概要」のとおりです。これらの諸事業を推進するために、新規事業は戦略的に予算を配分し、既存事業についてはゼロベースの視点から費用対効果を検証し節減を図るなど、限られた財源の有効活用を徹底するとともに、財務基盤の安定に向けて努力する所存です。

2 事業計画の概要

2018年度における教育研究活動の事業計画の主なものは、次のとおりです。

(1) 教育研究活動関係

ア 教学IR (Institutional Research) による学修成果可視化の推進とライティング支援を核とした学修支援体制の充実

入学時から卒業に至る複数回の各種調査結果を、入試、成績、キャリア等のデータと関連付けて分析を行い、学修

成果を可視化します。また、その結果をフィードバックするシステムにより、「コンピテンシー」、「リテラシー」、「GPA」の観点から、学生が所属学部平均と自身の状況を確認して、不足する能力を視覚的に把握することにより、能動的な学修を促します。

また、ICTの活用や国際化を見据えたアカデミックライティング支援を図書館や国際部等と連携して行うとともに、さまざまな支援に対応可能な大学院生のチューターを育成することにより、学修支援体制を充実させます。

イ オンライン国際交流学習「COIL(コイル)」を活用したアメリカ・ASEANとの大学間交流

学内でICTを用いてバーチャルに海外の教育機関のクラスと交流学習を行う、オンライン国際交流学習「COIL (Collaborative Online International Learning)」を活用した授業等の取り組みを、アメリカ・ASEANなど世界10カ国の大学と展開してまいりました。引き続き、アメリカ・ASEANの大学等との交流をさらに深め、COILを使った授業等により刺激を受けた学生が留学への関心を高め、学生の双方向のモビリティ活性化へとつながることを目指しており、国内外大学も巻き込んだCOIL活動の普及を促進します。



【COILによる授業風景】

ウ 学部・大学院における教育改革の推進

法学部における法曹プログラムの充実、商学部における国際化プログラムの充実や、政策創造学部における早期卒業制度の実施、外国語学部におけるスピーキング能力向上の成果測定による教育効果の検証、大学院では、本学法学部や大阪大学法科大学院との連携強化など法務研究科における改革の推進、経済学研究科における外国人留学生特別推薦入学試験による留学生の受入れ、ガバナンス研究科における履修証明プログラムの実施、社会安全研究科における英語のみによる学位取得コースの設置などの教育改革を展開します。

エ グローバルリーダーを育む国際寮の充実

学生センターが所管する「学生国際交流館・秀麗寮」と「ドミトリー月が丘」を、2018年4月から国際部に移管し、「南千里国際プラザ留学生寮」及び「南千里国際学生寮」とあわせて一元的に管理運営します。4つの国際寮において、多文化共生環境の中でのさまざまな交流を通して学生の国際感覚を磨き、将来グローバルな視点で活躍できる人材を育成します。

オ 文部科学省の私立大学研究ブランディング事業に係る戦略的な研究体制整備の推進

「オープン・プラットフォームが開く関大の東アジア文化研究」(2017年度採択)では、長年にわたり蓄積してきた本学の学術リソースを基盤に、東アジア文化研究のオープン・プラットフォームを形成して、人と世界に開かれたデジタルアーカイブを構築し、「世界的な東アジア文化研究を牽引する関西大学」としてのブランド確立を目指します。

東アジア文化研究のオープン・プラットフォーム

研究
リソースの
OPEN

研究
グループの
OPEN

研究
ノウハウの
OPEN

東アジア文化研究デジタルアーカイブの構築

東西文化接触とテキスト

本学が所蔵するリソースを中核として、世界各国の主要研究図書館の資料を含めた総合アーカイブを構築し、活用する。東西言語接触研究における世界有数の資料庫を有することで、国境を越えたアジア認識のグローバル化に寄与する。

東アジアの中の大坂の学統とネットワーク

近世・近代の市民教育を担った泊園書院の活動を明らかにすることで、大坂の文化的地位を再評価する。また、大英博物館、ロンドン大学と協力して遂行する大坂画壇アーカイブの構築と展覧会の開催により、日本美術史上で埋もれていた大坂画壇の再発見をもたらす。

古都・史跡の時空間

奈良県で新たにおこなう発掘調査により、第二の高松塚を目指した本学独自の実績をアピールする。また、本学が所蔵する古地図・絵図・古文書をベースに構築する歴史的景観復元データベースにより、近世・近代の関西に関する都市景観学の分野の開拓や、自治体や学校へのリソースの提供につなげる。

KU-ORCAS

【関西大学アジア・オープン・リサーチセンター概略図】
(Kansai University Open Research Center for Asian Studies: KU-ORCAS)

また、「人に届く」関大メディカルポリマーによる未来医療の創出(2016年度採択)では、KUMP(関大メディカルポリマー)デバイスの有効性の確認などの研究を推進するとともに、KUMPの分子構造の最適化と工業的スケールの生産方法を検討します。



カ 梅田キャンパス事業

起業・創業の支援に取り組み、学生のみならず社会人や主婦層など、幅広いユーザーの相談に対応し、30社を超える新規事業を立ち上げた実績が評価され、2018年2月に経済産業省・中小企業庁「創業機運醸成賞」を受賞した梅田キャンパスの「スタートアップカフェ大阪」では、多様な啓発プログラムを実施するほか、理論学習に留まらず、実際の起業体験を得るために、「関大生による児童向けプログラミング教室」の開講・運営や、東南アジアでの起業体験プログラムを実施します。



【スタートアップ支援ワークショップ】

キ キャリア形成及び就職支援の充実

学生一人ひとりの勤労観・職業観を涵養し、自らのキャリアを導き出す力を育成するため、多様なキャリア形成支援プログラムや就職活動支援プログラムを推進します。また、さまざまな業界や団体で活躍するOB・OGを登録する人材バンクを経年的に構築し、重点業界と密接な関係性を築くなど戦略的就職支援を推進します。千里山キャンパスにおいては、相談スペースを大幅に拡張し、落ち着いた相談ができ、かつ気軽に利用できる環境にリニューアルします。

ク グローバル社会で活躍できる人材養成に資するエクステンション講座の運営

UCLA(カリフォルニア大学ロサンゼルス校)のエクステンション機関が提供する数千の講座から、ビジネスパーソンのニーズが高い講座を選定して開講する「UCLA Extension提携オンライン講座」は、年次計画どおり学部生・大学院生へ対象を拡大するとともに、初年度の7講座から23講座に拡充します。加えて、新たに各種海外留学に必要な英語力を習得するための本学特設講座を提供します。

この他にも、教育研究の質向上のためのさまざまな施策を推進します。

学部・研究科トピックス

法学部／法学研究科

1カ月が経過して

新学期が始まり1カ月がたちました。大学での勉強や生活は、高校までとは異なる部分も多く、1年次生の中には戸惑っている人もいるかもしれません。ところで、皆さんが経てきた入試には、いくつもの形があります。それぞれの入試あるいは入学者の受け入れには(大学・学部の方針や理念があり、皆さんはそれに合致したからこそ入学に至っています。今はまだ大学に慣れていなくても、皆さんのこれからの学生生活が、先の方針や理念に沿った有意義なものとなることを願っています。

(入試主任 上田真二教授)

文学部／文学研究科 東アジア文化研究科

新緑に文弱

三島由紀夫がかつて若者向けに書いた「不道徳教育講座」に、「文弱柔弱を旨とすべし」という章があります。三島はこう言います。ズルイ大人が利用したがるのは青年の思想ではなく肉體だけなのだから、君たちはその裏をかいて体なぞ一切鍛えず、「文弱に流れ、柔弱に墮して」しまえ、と。文学研究科の学生諸君、三島の呼びかけに応じてここはひとつ、日々学問に耽溺し知性こそを鍛錬し、法文坂をヨロヨロ上る一心不乱の文弱となって、この美しい五月を過ごしてみませんか。

(副学部長 友谷知己教授)

経済学部／経済学研究科

経済学会学生懸賞論文表彰式

経済学会では、2017年度も学生懸賞論文を実施しました。応募論文31本のうち、2等2本(同点でいずれも最優秀賞)、3等12本、佳作9本が入賞、という審査結果となりました。3月9日に開催された表彰式で、谷田経済学部長から各受賞者へ表彰状と副賞が授与されました。



(柏原宏紀准教授)

各学部・研究科のさまざまな活動や取り組みなど、トピックスや皆さんへのメッセージをお届けします。

商学部／商学研究科

イギリスでビジネススクール体験

商学部では、毎年夏休みに、海外ビジネス英語プログラム Best A (Business English Study Abroad、通称ベスタ)をイギリスで実施しています。他国の学生と一緒にビジネススクールの講義を受講するEAM(English and Management)プログラムの参加者を募集中です。興味がある人は、説明会、パンフレット等を参照してください。



(小井川広志教授)

社会学部／社会学研究科

ACジャパン広告学生賞を受賞

メディア企画演習(広告)では実践的に広告を学ぶため、春学期はマーケティングの企画とプレゼンテーション(水野由多加教授)、秋学期はそれをもとにした広告の企画制作(山本高史教授)を行っています。昨年度のテーマは「犬の殺処分」。飼主の無責任やわがままを通して、社会や生命に関する問題意識を問うものです。それを受講生が最終成果物として30秒CMに仕上げ、ACジャパン広告学生賞に応募、応募総数185点の中から奨励賞を受賞しました。

(山本高史教授)

政策創造学部／ガバナンス研究科

ニュージーランド研修の開催

マオリ語でニュージーランドを指す「アオテアロア」は、「白く長い雲」。今年の研修テーマは、グローバル社会で活躍するための基礎を身に付ける「グローバル・コンピテンシー」と「異文化理解」です。研修では文化体験、現地学生との交流を通して多様な豊かなKiwi社会を体験しました。



(権南希准教授)

外国語学部／外国語教育学研究科

Aim high!

外国語学部では2年次に1年間の海外留学(SA)プログラムがあり、その中で自ら情報を入手し、自主的に行動していくことの重要性を学びます。2年次生はSAプログラム後には、「考動する」人材になって帰って来てくれることと思います。外国語学部では、より多くの優秀な学生が育てほしいという思いから、毎年、成績優秀者・社会的活躍者の表彰制度を実施しています。SAプログラム後にさらに自分を成長させる手段として、そのような表彰制度もどんどん活用してください。

(水本篤教授)

人間健康学部／人間健康研究科

2018 FIFA World Cup Russiaを迎えて

2018 Olympic Winter Gamesで印象にあるのは、スピードスケート500mで小平奈緒が滑走後に口元に人差し指を当て、次走のLee Sang-Hwaを気遣ったシーンです。1998年フランス大会のRoberto Baggio(伊)を思い出しました。Carl Diems(独、スポーツ哲学)は「スポーツは遊戯としての遊びに始まり、競技としての遊びに終わる」と唱えました。故Dettmar Cramer(独)は「Taka、フットボールはエデュケーション・スポーツだよ」と私に語りました。スポーツは「暴力反対」の否定から生まれたムーブメントであり、スポーツマンとは「良き仲間」という意味が含まれています。さて、お金持ちの日本サッカーは何を伝えてくれるのでしょうか。

(河端隆志教授)

総合情報学部／総合情報学研究科

高槻キャンパス祭のお知らせ

本年度の高槻キャンパス祭は、5月27日(日)10時より開催します。このキャンパス祭は、総合情報学部祭典実行委員会が企画・運営を行う学生主体のイベントで、本学部のオープンキャンパスとしてスタートした後、今回で24回目を迎えます。今年のテーマは「High! High! High!」です。本学学生同士の交流はもちろん、地域の皆さまとの触れ合いの場としても発展しており、大勢の方に楽しんでいただけるイベントです。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

(学生主任 谷本奈穂教授)

社会安全学部／社会安全研究科

PDM始動!

社会安全研究科博士課程後期課程では国際化に対応すべく英語だけで学位が取れるプログラム、Ph.D. of Disaster Management Program(通称PDM)を立ち上げました。近年海外、とりわけアジアでの大学院進学熱は高く、中でも防災を日本で学びたいという学生は少なくありませんが、日本語の習得が大きな壁となっています。このプログラムでは、本研究科在籍の6人の専任教員が講義と論文指導を全て英語で行うことで、十分な日本語の能力がなくても博士号の取得ができるよう設計されています。

(教学主任 永松伸吾教授)

専門職大学院トピックス

臨床心理専門職大学院

臨床心理士・公認心理師のための教育ビジョン

臨床心理学の業界では、昨年とても大きな出来事が起こりました。「公認心理師」の国家試験制度が誕生したのです。そもそも、「臨床心理士」資格は日本心理臨床学会という学会を母体とした公益財団法人「臨床心理士資格認定協会」が認定しています。日本心理臨床学会は設立から30年以上も心理臨床専門職の国家資格化を目指してきましたから、「とうとう夢がかなった」感覚でした。ところが、いざ現実に、必要な授業科目や実習時間数を確保しようと取り組み始めると、夢ではない、忙しい現実が突き付けられます。教員たちは日々議論やシミュレーションを続け、臨床心理士、公認心理師養成のための新しいビジョンを練り出そうとがんばっています。

(池見陽教授)

併設校トピックス

関西大学初等部

第8回初等部研究発表会を開催しました。

2月3日、全国各地(北は北海道、南は沖縄)から800人以上の方にお申し込みをいただき、初等部の研究発表会を開催しました。本年度は、「思考スキルを生かした授業デザイン-資質・能力を育成するための-」を研究テーマに、27(うち三つは中等部)の授業を公開しました。公開した初等部の授業は各教科・道徳・総合学習・ミューズ学習、中等部は「考える科」です。特に、本年度は中等部1~J3全ての学年で「考える科」を公開したため、初等部での6学年の「ミューズ学習」と中等部「考える科」という9学年の思考力育成の取り組みを公開することができました。初中連携の取り組みとして、大きな一歩を踏み出したと捉えています。また、本年度は、全ての公開授業について行う協議会の時間を昨年度よりも長く設定し、参加者の方からより多くのご示唆を受けることにしました。今回の成果と課題を踏まえ、今後も高い人間力を持った「関大っ子」を育てるために、初等部・中等部と連携した取り組みを進めていく所存です。

(教頭 長戸基)

システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部／理工学研究科

5月は人生の分岐点

大学2年次生、3年次生にとって5月は特にゴールデンウィークがあるぐらいで、特別な月ではないと思いますが、1年次生にとっては新しい生活が始まって1カ月たち、疲れがたまってきた頃だと思えます。実はこの5月からの2カ月の過ごし方が、大学を4年で卒業できるかどうかにか大きく影響してきます。新生活での疲れが少なかった状態、高校よりかなり難しい授業が続くと、どうしても逃げ出したい気持ちになるかもしれません。しかし、ここで欠席してしまうと、さばり癖がつき、授業が分

からなくなり、7月に行われる春学期試験では散々な結果になります。1年次生は最低でも春学期20単位、できれば25単位修得を目指してがんばってください。春学期20単位以上修得できるかどうかは4年で卒業できるかどうかの目安になります。大学4年次生と博士課程前期課程2年次生にとって5月は就職活動の正念場。6月の本格始動前の会社説明会や事前面談など、多数のイベントに参加し、心身ともに疲れているでしょう。でも、就職活動はがむしゃらにやれば良いものではありません。指導教員、キャリア

センター事務職員などとしっかり相談して計画的に活動してください。決して、研究活動をおろそかにしないように。特に博士課程前期課程の学生にとっては研究活動をしていることが、技術系としての人生を送る上で必須条件です。スケジュール管理をしっかりと、研究活動と就職活動を両立してください。(化学生命工学部副学部長 青田浩幸教授)

Attention 大学からの重要なお知らせ

2018年度 春季人権 啓発行事

下記の要領で、人権問題に関する講演会を開催します。多くの学生・教職員のご参加をお待ちしております。なお、詳細については案内パンフレット「人権を考える」を参照してください。手話通訳、パソコン文字通訳を準備いたしますので、必要な場合は、開催日の1週間前をめどに学長課(TEL:06-6368-1416(直通))へご連絡ください。

【千里山キャンパス】

4月20日(金) 第2時限	テーマ:「子どもからお年寄りまでを支える包摂型のまちづくり」 高槻富田地区における実践から 講師:岡本工介氏 (一般社団法人タラスペースWAKWAK 業務執行理事・社会福祉士)	5月22日(火) 第2時限	テーマ:「野生動物を「愛する自由」に「握る自由」? 講師:井上浩輝氏(オフィスイノウエ 代表)
4月26日(木) 第1時限	テーマ:「Robots, Artificial Intelligence and Threats to Privacy (ロボット・人工知能・プライバシーへの脅威)」 講師:KARL MICHAEL MANHEIM(カール・マイケル・マンハイム)氏 (Loyola Law School 教授) ※講演は英語で行われますが、別途講演概要を日本語で配布します。	5月25日(金) 第3時限	テーマ:「冤罪と人権」 講師:桜井昌司氏 時間:13:00~14:30 場所:千里山キャンパス 第3学舎 ソシオAV大ホール(D101教室)

【高槻キャンパス】

5月28日(月) 第5時限	テーマ:「これがアート? これもアート! ~霧の津ミュージアムの挑戦~」 講師:津口在五氏(霧の津ミュージアム 学芸員)
---------------	---

【高槻ミュージズキャンパス】

5月31日(木) 第3時限	テーマ:「生命倫理を考える 一患者と家族の権利」 講師:柏木哲夫氏(聖川キリスト教病院 理事長)
---------------	---

【堺キャンパス】

5月15日(火) 第3時限	テーマ:「目に見えない世界を歩く 一[全盲]のフィールドワーク」 講師:広瀬浩二郎氏 (国立民族学博物館グローバル現象研究部 准教授)
---------------	---

関大トピックス

「新入生歓迎の集い2018」を開催しました。

千里山キャンパスで4月4日、一人暮らしを始める新入生を対象に、学生同士の交流をサポートするイベント「関西大学 新入生歓迎の集い2018」を開催しました。

会場は約900人の学生らで埋め尽くされ、平昌五輪などで好成績を残した体育会アイススケート部の宮原知子さん(文3)も駆け付けました。留学生も参加していることから、宮原さんは日本語と流ちょうな英語で「関大でぜひ興味のあることを見つけてください。私も文武両道でがんばります」とエールを送りました。懇談の時間には、たこ焼きやお好み焼きなどの大阪の食文化を堪能するおもてなし料理を振る舞い、また、高増明副学長や本学OGのシンガーソングライター・花房真優さん(2018年経済学部卒)らによる歓迎ライブも行われ、大いに盛り上がりました。



高増明副学長らによる歓迎ライブ



会場たこ焼きがきっかけで結成された「チームたこ焼き」

千里山東体育館がリニューアル竣工

千里山キャンパスで3月12日、リニューアル工事を進めてきた千里山東体育館が完成し、そのお披露目と完成を祝して竣工式を挙行了しました。

1963年に竣工した旧千里山東体育館は、築50年以上の経過に伴う老朽化により、2017年に建替工事を着工し、今回竣工を迎えました。現代風にパワーアップした同体育館は、地下1階、地上3階からなり、延面積6,895.53㎡を有し、単なる体育施設としての機能にとどまらず、新たに2つの機能「読む体育館」と「防災レジリエンス」を拡充。

当日は、竣工記念イベントとしてエキシビジョンマッチ「関大バスケットVS大阪エヴェッサ(8リーグ所属)」を開催。新体育館の幕開きとなる本イベントでは、白熱したゲームが繰り広げられました。観覧席では、近隣子どもたちや地域住民の方々が観戦し、熱気あふれる声援を送りました。



同体育館では、竣工後もチャタンスや器械体操などの子ども向けスクールを講読するなど、学生のみならず地域にも利用の門戸を広げていく予定です。



体育会アイススケート部の宮原知子さんが世界フィギュアスケート選手権大会2018で3位

3月19日～3月25日に、イタリア・ミラノで開催されたISU世界フィギュアスケート選手権大会2018で、体育会アイススケート部の宮原知子さんが3位に入賞し、銅メダルを獲得しました。ショートプログラムで74.36点、フリースケーティングで135.72点、トータルスコア210.08点をマーク。



写真提供：関大スポーツ編集部

年史資料展示室企画展

「簡文館の90年—大学昇格から現在まで—」を開催中

関西大学簡文館大阪府指定文化財指定記念「簡文館の90年—大学昇格から現在まで—」が4月1日から千里山キャンパス簡文館1階、年史資料展示室で開催されています。簡文館は1928(昭和3)年に図書館として竣工し、今年で90年を迎えました。今回の企画展では、文化財指定を記念し、これまでの歩みをパネルや写真等の展示を通して紹介しています。

【会 期】2018年4月1日～2019年3月23日(土)まで
午前10時～午後4時

【休館日】日曜・祝日・大学が定めた休日

【会 場】千里山キャンパス
簡文館1階
年史資料展示室

【入館料】無料



関大人 四方山話 ◆「千里山キャンパス花歳時記」

よもやまばなし

スポーツ振興グループ 板井征人



春桜の花姿や散舞は堪能できましたでしょうか。千里山キャンパスの植物は年中素晴らしいです。5月から6月に、関大会館の前をどとどと歩いていると、ハリエンジュの花が香ってきます。一番好きな匂いに癒やされます。真夏に、関大前駅南側の出口から豪汗をかきつづ階段を上っていくと朝日をキラキラと紫色に跳ね返すマツバギクに励まされます。秋には、関大会館の北側で、金木犀が強めの香りを漂わせているときがあります。人間には、ダイエツ

トやアンチエイジングの効果もあるようです。さらに秋が深まると、第3学舎と第2学舎の間にあるモミジが真っ赤に色づきます。冬には、第2学舎の裏を歩いていくと、大きく真っ白なサザンカが枝にくっついてます。夜には教室から漏れ出た蛍光灯の白い光が、サザンカの花びらをひときわ白く甘美に浮か上らせてくれます。携帯や下ばかり見ている日常ですが、心にゆとりを自然が教えてくれているようです。

編集後記

今季節、千里山キャンパスではみずみずしい新緑が目にも染みるようです。新緑の緑には自律神経を整え、心を落ち着かせて元気になれる効果があるのだとか。ゴールデンウィークが終わるとようやく学生生活に本腰が入られる時期になりますが、授業、アルバイト、クラブ活動が重なって疲れもたまってきます。そういう時はちょっとだけ足をとめて、キャンパスの豊かな自然に触れてみてはいかがでしょうか。

(広報委員・外国語学部教授 平嶋里珂)



関西大学通信「KANDAI STYLE」

発行日:2018年5月1日(年9回発行)

発行:関西大学広報委員会

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

電話:06-6368-1121(大代表)

今月の表紙

3月12日に竣工した千里山東体育館の記念イベント、バスケットボール エキシビジョンマッチ「体育会バスケットボール部 VS 大阪エヴェッサ」